

議案第36号 東郷町少人数学級編制の実施に係る任期付 町費負担教員の任用等に関する条例の制定について

討論一覧(討論順掲載)

賛成討論 山田達郎 議員

議案第36号東郷町少人数学級編成の実施にかかる任期付長費負担教員の任用等に関する条例に賛成する立場から討論いたします。児童の多国籍化、職員の多忙化が進む中、今や少人数学級は時代の流れとなっています。愛知県内でも複数の自治体において少人数学級が実施されており、近隣では、みよし市、豊明市では、全学年で35人学級を実施しています。この少人数学級の実施は、教員1人当たりの児童の数を少なくすることで、児童の不安や悩みなど、児童に寄り添い、個々の学習状況に応じたきめ細かな教育を実現につながり、また、教員の負担軽減につながるものになると思います。こうしたことから、国、県の実施に加えて、来年度より全小学校において、全学年が1学級35人以下となる本議案について、教員の確保に努めていただき、35人学級を確実に実現できるよう要望して、賛成とします。

賛成討論 中野まさひろ 議員

コロナ禍において、子ども達の長期欠席や、うつ状態の増加、意欲の減退が指摘されており、本町においても長期欠席や別室登校が増加しています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止は重要課題ではありますが、子ども達が抱えている困難の解消も、また重要課題であります。そして「35人学級・30人学級・少人数指導」は、私もかねてから提案して来た国の計画を前倒ししての「少人数学級の推進」であり、子ども達にとっても先生方にとっても焦眉の課題であります。先日、名古屋市で教員をやってみえる方と東郷町出身の三河地方で4月から教員となられた方とお話した際「東郷町の35人学級・30人学級」に大きな期待を持っていると言っていただけでした。教員の確保は容易ではありませんが、まずは35人学級、そして30人学級・少人数授業の実現に向けて、子ども達のために、さらにご努力いただきますことをお願いし、賛成討論といたします。